

#医学書院の新刊

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.395)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



今日の治療指針 2017年版 [ポケット判]

私はどう治療している

福井次矢、高木誠、小室一成＝編

本体 15,000 円＋税／2096 頁／医学書院／2017

1959年の初版以来、第59版となる『今日の治療指針』。今年度版では過去最多の1,137項目につき1,113名の気鋭の臨床家が執筆。新たな試みとして各項目の冒頭に当該疾患について最新情報（新薬やガイドラインの発刊など）のエッセンスを「トピックス」として箇条書きで掲載。最新の情報・動向を頭に入れることで、近い将来、診療内容の変更が求められる場面でも心理的な抵抗なく対応できるだろう。オンライン電子版との連携も充実、全文検索機能を利用すれば、さらなる診療の効率化にもつながるはずだ。



健康格差社会への処方箋

近藤克則＝著

本体 2,500 円＋税／264 頁／医学書院／2017

『健康格差社会』(2005)、『検証「健康格差社会」』(2007)、『「医療クライシス」を超えて』(2012)と続いてきた同著者の“健康格差社会シリーズ”の第4弾。

社会・経済的因子による健康格差の実態とその生成機序を「健康格差社会」と命名し各界にインパクトを与えた著者が、その後の研究や社会の動向を踏まえ、「どうすべきか」を示す「処方箋」。格差の要因を示すだけでなく、「格差対策に取り組むべきか」という判断の根拠をも提供、その上で国内外で実証されつつあるミクロ・メゾ・マクロレベルの戦略を紹介する。医療政策関係者や公衆衛生関係者に必読の1冊。



スーパーバイズでお悩み解決！ 地域における支援困難事例 15

吉岡京子＝編著

吉永陽子、伊波真理雄＝著

本体 2,400 円＋税／176 頁／医学書院／2016

Editorial (p.277)で藤沼康樹先生が言う「困難事例」とは、まさにこのこと！外来にやってくる患者さんが、実は身体以外の大きな問題を抱えていた！セラー服の女子高生を追いかける男性、生活保護費で彼氏に薬物を買う女性……など、「にっちもさっちもいかない」事例に対し、経験豊富な精神科医らによるケースワークながらのスーパーバイズを展開。思考力・判断力を養うエッセンス満載。支援困難事例を1人で抱え込まない視点の持ち方、地域で支えるための連携を学ぶ。